【目指す児童像】

やさしい子 元気な子 よく学ぶ子



# 八幡の森

学校だより 第6号 令和5年7月20日 宇都宮市立昭和小学校 発行責任者 宮澤文洋

# 子供たちの夏休みが始まります

令和5年度がスタートしてあっという間に4か月が過ぎました。7月 21 日からは子供たちの夏休みが始まります。8月最終の週休日を含めて 38 日間という長い期間を活用して、普段の生活では経験できないことを見つけて取り組んでほしいと思います。また、計画的に毎日を過ごすこと、継続して何かに取り組むことなど、有意義に過ごしてほしいと思います。夏休みをどのように過ごすかで、休み明けの学校生活が変わってくるとも言われます。生活リズムを整え、健康で充実した休みになるよう御家庭や地域での御支援をお願いいたします。

さて、一般的に夏は開放的になりやすいと言われています。ちょっとした気の緩みが、飛び出し等の交通事故、水難事故につながることもありますので、子供たち自身で身を守れるよう、各御家庭でも御指導くださるようお願いいたします。

保護者及び地域の皆様には、年度のスタートから本校教育活動に対しまして御理解・御協力を賜りありがとうございました。8月・9月も引き続き、お力添えくだるようお願いいたします。

#### 休み中のお手伝いについて ~認めて育てる~

「休み中の子供の手伝い」について考えてみたいと思います。大人が忙しいところに手伝いの面倒もみると、結局二度手間になってしまって……、と感じるかもしれません。また、休みに入って、お願いしたところで「お手伝いは面倒」と言われるかもしれません。

家庭は社会生活の根本であり、家族のそれぞれが特性や人格を認め合うことで成り立っています。今後、お子さんが、自らの力で自分の未来を力強く切り拓いていくことを考えると、その基本となる家庭の中で「自立」し、家族の中で「役に立つ存在」「頼りになる存在」として認められることは、将来、胸を張って外の社会に踏み出していくことにつながると思います。

子供の家事(お手伝い)参加と親子関係の研究によると、子供の家事参加が多いほど、親子関係は良好で、積極的な会話が多いという結果が出ているようです。「子供の家事参加と親子関係」に相互作用があるとするならば、子供に手伝いをさせようとするのではなく、日頃から親子で会話し、学習や生活の相談に乗ったり、一緒に楽しい時間を共有したりすることで、子供は自然と家事に誘われ、「やらされている」ではなく「役に立ててうれしい」となっていくのではないでしょうか。

安全を確保しながら子供に手伝いを任せるのは、「大人が我慢する時間」のほうが多いと思いますが、 一人前として認められることは自己有用感を高め、最終的には、自分に対する「誇り」をもつことにつな がると思います。長期休業を活用して、是非、夏休みならではの手伝いを話し合ってみてはいかがでしょ うか。手伝いも重要な家庭教育です。我々大人にとっては、根気と忍耐が必要ですが……。

## あいさつチャンピオン ~児童会 計画委員会~



児童会計画委員会では、7月3日から2週に渡って「あいさつチャンピオン」を実施しました。1週目の目標は「先生やお客さんに自分からあいさつしよう」、2週目は「笑顔で明るいあいさつをしよう」です。この目標に

対して、各自が自己評価カードにより評価 し、よく取り組んだ場合は、「あいさつチャンピオンシール」がもらえます。そんな 中での悩みです。マスクがあると言葉が聞

こえづらいこともあり、「あいさつを返されなかった」という状況もあるようです。そんな時は、アイコンタクトという手段があります。私も毎朝、一人一人と目を合わせて挨拶するように努めています。



### 市民総ぐるみ環境点検活動

7月7日(金),昭和地区防犯パトロール隊主催による「市民総ぐるみ環境点検活動」を実施しました。 地区の関係団体の皆様や栃木県警の職員とともに、午後7時から午後8時過ぎまで、5つの班に分かれ て子供の目線で点検しました。「飛び出し注意」等の看板の劣化状態、樹木が視界を遮っていないか、ガ ードレールの必要性などです。活動をとおして私が気付いたことは、児童の安全確保のためには、地区の 大人が風通しのよい関係を保ち、細かな危険情報を共有できる状態になっていることが大切であるとい うことです。この後、点検結果をもとに改善対策を進めていくことになります。地域の皆様に活動が実施 されましたことを御報告し、引き続き、児童の見守り活動等にお力添えくださるようお願いいたします。







#### 地域学校園小中一貫教育活動

7月3日(月),星が丘地域学校園小中一貫教育活動の一つである,小中合同あいさつ運動を実施しました。年間3回実施のうちの第1回目となります。星が丘中学校の生徒と本校児童会の計画委員で朝の

スタートです。本校独自でもあいさつ運動は継続 実施していますが、小中一貫による中学生との活動は心強く活気が出ます。さて、もう一つの小中 一貫教育活動は、「乗り入れ授業」です。これは、 学校園の小中学校教員の交流で、中学校の先生が 園内の小学校で6年生の授業を実施します。「中学校への接続」という目的があります。





### 理由を聞いて褒める ~自己肯定感の更なる高揚へ~

本校では、児童の自己肯定感の更なる高揚に向けて「褒める」ことに力を入れています。的確に褒めるためには、褒めるべき行動や考えを、絶妙のタイミングで伝えることが重要です。そのためには、子供に寄り添い、時間をかけて見つめることが大切であると思っています。そんな中、私は最近、行動の理由を聞いてから褒めることを試みています。子供にとって説明は面倒だと思いますが、この作業で、行動に加えてその子の考え方や思いに触れることができ、さらに踏み込んで褒めることができるのです。子供たちの行動の理由には、作業へのこだわり、自分に対する誇り、友達への思いやりや優しさが溢れています。時には、「何となく」といった理由もあります。これもよしです。何となくと答えても、時間が経って理由に気付くかもしれません。最終的には、自分の内面に向き合うきっかけになればよいと思います。

# お掃除ボランティアさん

「校長先生,お掃除しますか?」と職員室前廊下担当の児

童がボランティアに来てくれています。担当が代わっても、気にかけていただき、ありがたいです。そして、やっぱり子供の目は凄いです。今日こそは、細かな埃も取り切ったと思っても、「校長先生、まだありますよ。」と御指導いただいております。まだまだ未熟者。精進いたします。



トイレ洋式化工事(職員トイレ,3階児童用トイレ)が7月21日(金)から始まります。それに伴い,個人懇談期間中のトイレの使用は、2階のみとなりますので、御理解・御協力をお願いいたします。